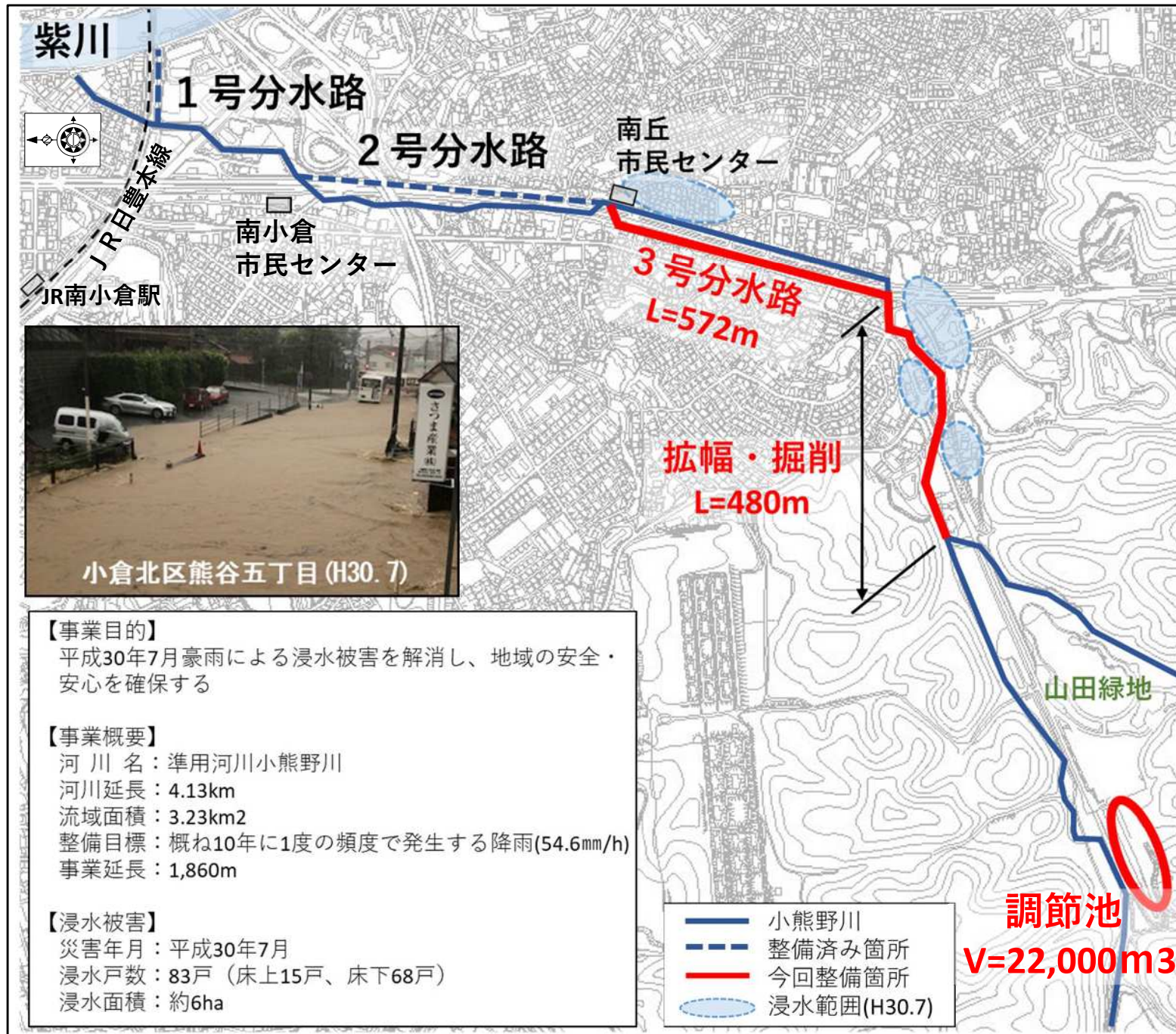


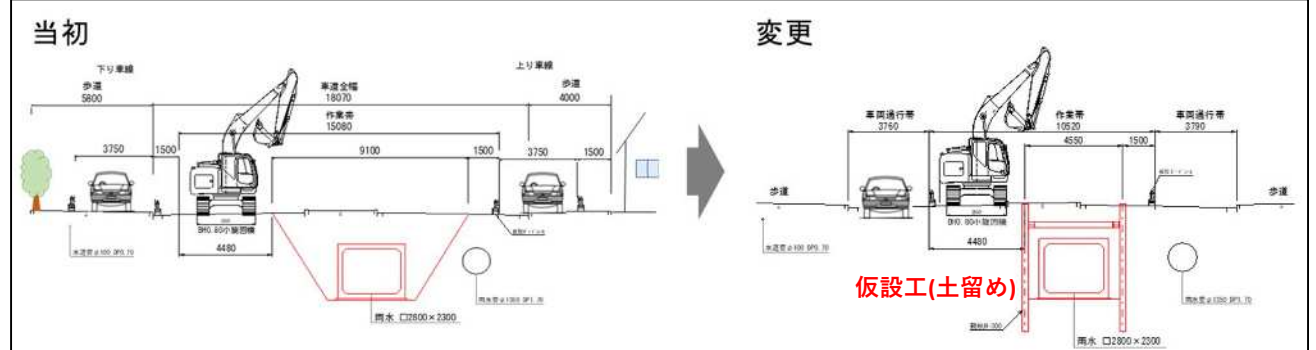
小熊野川準用河川改修事業【再評価】

別紙 1



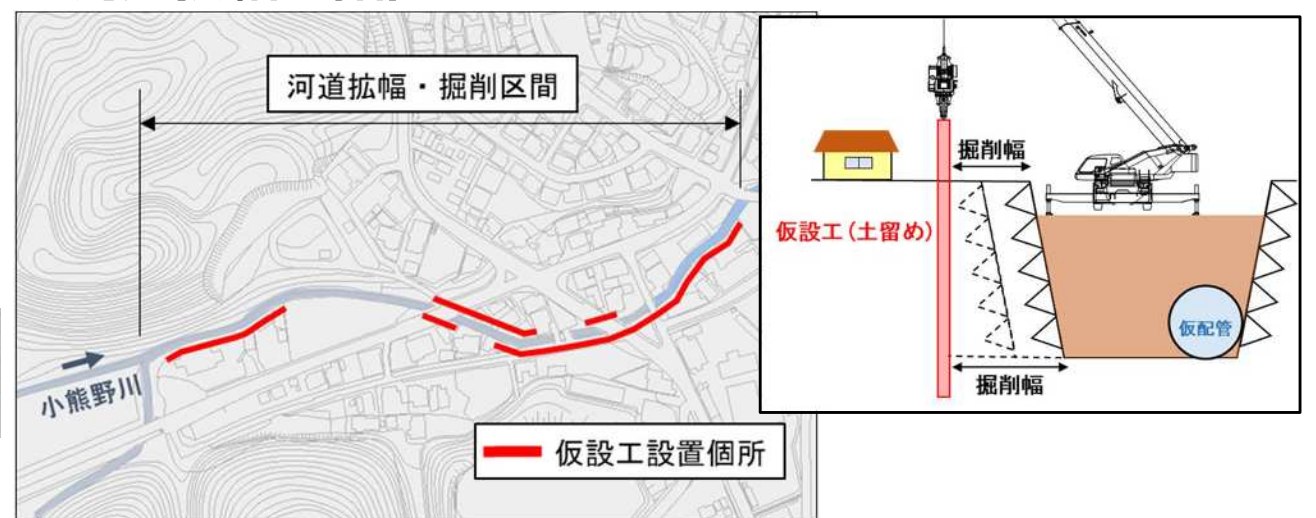
変更内容

■ 3号分水路



- ・計画策定時は過去の実績（2号分水路の事業費）を参考に算出
- ・詳細な調査・設計及び警察協議を実施した結果、通行スペースの確保及び安全性の観点から、仮設工を増工
- ・工事範囲は硬質な岩盤層（600<N値）のため、仮設工が高額
- ・労務単価や資材価格の高騰

■ 河道拡幅・掘削

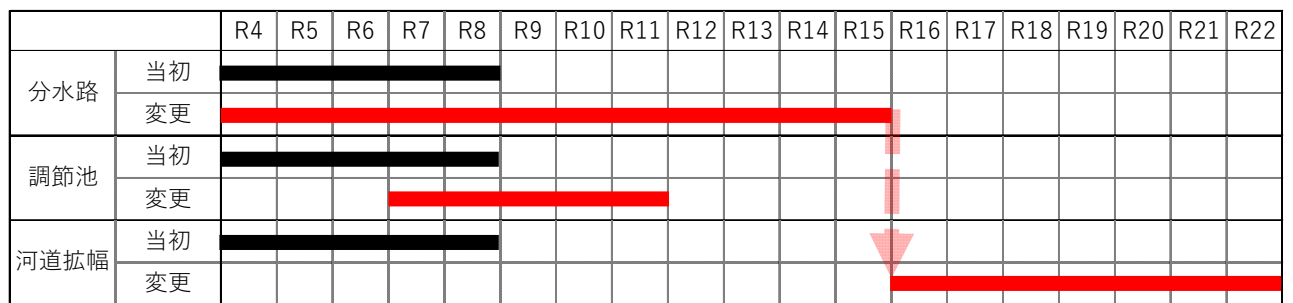


- ・家屋が隣接していることから、仮設工を増工
- ・硬質な岩盤層（375<N値≤600）が想定されるため、仮設工が高額
- ・労務単価や資材価格の高騰

■ 当初計画(令和3年度)と今回(令和6年度)との比較

	当初計画(令和3年度)	今回(令和6年度)	増減
事業費	9億円	21億円	12億円 増額
3号分水路	2億円	13億円	11億円 増額
調節池	5億円	4億円	1億円 減額
河道拡幅・掘削	2億円	4億円	2億円 増額
事業期間	令和4年度～令和8年度(5年間)	令和4年度～令和22年度(19年間)	14年間 延伸

■ 事業スケジュール(仮設工増工による延伸)



※費用便益比(B/C) = 1.13 (前回評価時：1.94)